

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 徳島県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	三好病院	3
-	海部病院	4
徳島市	徳島市民病院	5
三好市	三野病院	6
勝浦町	国保勝浦病院	7
那賀町	那賀町立上那賀病院	8
美波町	国保美波病院	9
海陽町	海南病院	10
つるぎ町	つるぎ町立半田病院	11

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,059 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
診療科数	26	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	390	84.2	83.3	80.6
療養	-	-	-	-
結核	5	34.1	37.3	32.6
精神	60	42.0	62.7	52.8
感染症	5	12.2	16.8	-
計	460	77.4	79.4	75.6
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.6	9.3

設立団体の状況		
人口(人)	755,733	
決算規模(千円)	460,416,148	
標準財政規模(千円)	250,053,195	
財政力指数	0.32669	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	180.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,035,411			
1 経常収益	17,035,411			
(1) 医業収益	14,895,438			
入院収益	10,346,638			
外来収益	3,595,369			
診療収入計	13,942,007			
その他医業収益	953,431			
(うち他会計負担金)	565,372			
(2) 医業外収益	2,139,973			
(うち国・都道府県補助金)	87,383			
(うち他会計補助・負担金)	1,403,673			
(うち長期前受金戻入)	505,714			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,449,112			
2 経常費用	16,449,112			
(1) 医業費用	15,389,651			
職員給与費	7,785,407	52.3	55.7	54.0
材料費	3,943,448	26.5	24.7	26.9
(うち薬品費)	2,389,001	16.0	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,553,997	10.4	11.0	12.2
減価償却費	997,686	6.7	9.0	7.9
経費	2,570,009	17.3	23.3	19.2
(うち委託料)	1,545,843	10.4	11.5	9.3
研究研修費	64,662			
資産減耗費	28,439			
(2) 医業外費用	1,059,461			
(うち支払利息)	280,208	1.9	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	586,299			
純損益	586,299			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.6		97.7	98.8
医業収支比率	96.8		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	11.6		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	91.6		85.7	89.1

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	37,760,724
1 固定資産	31,659,465
(1) 有形固定資産	30,404,551
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,247,720
2 流動資産	6,101,259
(1) 現金及び預金	1,800,272
(2) 未収金及び未収収益	4,068,692
(3) 貸倒引当金( )	21,920
(4) 貯蔵品	222,695
3 繰延資産	-
負債合計	39,229,610
1 固定負債	30,579,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,269,239
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	790,000
(5) その他の長期借入金	395,000
(6) 引当金	3,111,441
(7) リース債務	13,479
2 流動負債	4,588,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,560,819
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	663,649
(6) リース債務	18,207
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,999,233
(9) 前受金及び前受収益	3,431
3 繰延収益	4,062,380
(1) 長期前受金	13,994,367
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,931,987
資本合計	-1,468,886
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-8,887,219
(1) 資本金剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-9,558,502
負債・資本合計	37,760,724
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,468,886
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.1
修正医業収益(千円)	14,330,066

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,940,245	1,969,045
資本勘定繰入	370,708	371,689
計	2,310,953	2,340,734

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	
				病院名	三好病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,511 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
診療科数	18	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	206	68.3	65.0	67.8
療養	-	-	-	-
結核	8	5.5	12.1	20.6
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	220	64.2	61.3	64.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	13.1	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	755,733	
決算規模(千円)	460,416,148	
標準財政規模(千円)	250,053,195	
財政力指数	0.32669	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	180.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.2
修正医業収益(千円)	3,651,641

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,928,488			
1 経常収益	4,928,488			
(1) 医業収益	4,016,506			
入院収益	2,641,115			
外来収益	934,843			
診療収入計	3,575,958			
その他医業収益	440,548			
(うち他会計負担金)	364,865			
(2) 医業外収益	911,982			
(うち国・都道府県補助金)	11,114			
(うち他会計補助・負担金)	498,298			
(うち長期前受金戻入)	368,581			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,565,293			
2 経常費用	5,565,293			
(1) 医業費用	5,275,636			
職員給与費	2,672,350	66.5	55.7	59.8
材料費	767,981	19.1	24.7	19.0
(うち薬品費)	331,275	8.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	436,236	10.9	11.0	9.2
減価償却費	694,092	17.3	9.0	9.9
経費	1,112,782	27.7	23.3	27.7
(うち委託料)	603,562	15.0	11.5	12.4
研究研修費	20,678			
資産減耗費	7,753			
(2) 医業外費用	289,657			
(うち支払利息)	42,435	1.1	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-636,805			
純損益	-636,805			
累積欠損金	5,409,447			
経常収支比率	88.6		97.7	96.3
医業収支比率	76.1		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	17.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.5		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	17.5		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	73.0		85.7	83.5

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	37,760,724
1 固定資産	31,659,465
(1) 有形固定資産	30,404,551
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,247,720
2 流動資産	6,101,259
(1) 現金及び預金	1,800,272
(2) 未収金及び未収収益	4,068,692
(3) 貸倒引当金( )	21,920
(4) 貯蔵品	222,695
3 繰延資産	-
負債合計	39,229,610
1 固定負債	30,579,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,269,239
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	790,000
(5) その他の長期借入金	395,000
(6) 引当金	3,111,441
(7) リース債務	13,479
2 流動負債	4,588,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,560,819
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	663,649
(6) リース債務	18,207
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,999,233
(9) 前受金及び前受収益	3,431
3 繰延収益	4,062,380
(1) 長期前受金	13,994,367
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,931,987
資本合計	-1,468,886
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-8,887,219
(1) 資本金剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-9,558,502
負債・資本合計	37,760,724
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,468,886
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	863,163	863,163
資本勘定繰入	57,865	58,275
計	921,028	921,438

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	
				病院名	海部病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	23,159 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	8	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	102	70.4	63.9	65.4
療養	-	-	-	-
結核	4	5.1	5.4	3.6
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	110	65.4	59.4	60.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	14.7	15.7

設立団体の状況		
人口(人)	755,733	
決算規模(千円)	460,416,148	
標準財政規模(千円)	250,053,195	
財政力指数	0.32669	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	180.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.2
修正医業収益(千円)	1,695,687

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,394,091			
1 経常収益	2,394,091			
(1) 医業収益	1,862,738			
入院収益	1,000,446			
外来収益	650,019			
診療収入計	1,650,465			
その他医業収益	212,273			
(うち他会計負担金)	167,051			
(2) 医業外収益	531,353			
(うち国・都道府県補助金)	5,898			
(うち他会計補助・負担金)	304,006			
(うち長期前受金戻入)	203,684			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,607,178			
2 経常費用	2,607,178			
(1) 医業費用	2,450,321			
職員給与費	1,111,166	59.7	55.7	61.3
材料費	371,603	19.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	266,244	14.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	105,235	5.6	11.0	8.2
減価償却費	381,607	20.5	9.0	10.2
経費	578,387	31.1	23.3	30.5
(うち委託料)	252,419	13.6	11.5	13.0
研究研修費	5,491			
資産減耗費	2,067			
(2) 医業外費用	156,857			
(うち支払利息)	30,658	1.6	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-213,087			
純損益	-213,087			
累積欠損金	4,659,357			
経常収支比率	91.8		97.7	96.5
医業収支比率	76.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	25.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	19.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	73.8		85.7	80.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	37,760,724
1 固定資産	31,659,465
(1) 有形固定資産	30,404,551
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,247,720
2 流動資産	6,101,259
(1) 現金及び預金	1,800,272
(2) 未収金及び未収収益	4,068,692
(3) 貸倒引当金( )	21,920
(4) 貯蔵品	222,695
3 繰延資産	-
負債合計	39,229,610
1 固定負債	30,579,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,269,239
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	790,000
(5) その他の長期借入金	395,000
(6) 引当金	3,111,441
(7) リース債務	13,479
2 流動負債	4,588,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,560,819
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	663,649
(6) リース債務	18,207
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,999,233
(9) 前受金及び前受収益	3,431
3 繰延収益	4,062,380
(1) 長期前受金	13,994,367
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,931,987
資本合計	-1,468,886
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-8,887,219
(1) 資本剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-9,558,502
負債・資本合計	37,760,724
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,468,886
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	460,200	471,057
資本勘定繰入	78,273	78,273
計	538,473	549,330

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	徳島市
				病院名	徳島市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,240 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	38	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	335	79.4	79.2	76.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	335	79.4	79.2	76.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	11.4	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	258,554	
決算規模(千円)	98,753,825	
標準財政規模(千円)	54,393,319	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	72.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.3
修正医業収益(千円)	8,966,283

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,880,659			
1 経常収益	10,880,129			
(1) 医業収益	9,404,052			
入院収益	6,407,792			
外来収益	2,306,557			
診療収入計	8,714,349			
その他医業収益	689,703			
(うち他会計負担金)	437,769			
(2) 医業外収益	1,476,077			
(うち国・都道府県補助金)	37,947			
(うち他会計補助・負担金)	768,639			
(うち長期前受金戻入)	584,664			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	530			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,795,806			
2 経常費用	10,767,884			
(1) 医業費用	10,150,862			
職員給与費	4,987,737	53.0	55.7	57.0
材料費	2,543,441	27.0	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,271,551	13.5	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,270,612	13.5	11.0	11.3
減価償却費	982,990	10.5	9.0	9.3
経費	1,604,592	17.1	23.3	22.1
(うち委託料)	970,578	10.3	11.5	11.1
研究研修費	30,141			
資産減耗費	1,961			
(2) 医業外費用	617,022			
(うち支払利息)	250,955	2.7	1.4	1.4
(3) 特別損失	27,922			
損益				
経常損益	112,245			
純損益	84,853			
累積欠損金	9,630,295			
経常収支比率	101.0		97.7	96.4
医業収支比率	92.6		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	11.1		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	89.8		85.7	85.3

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,004,063
1 固定資産	10,809,839
(1) 有形固定資産	10,809,728
(2) 無形固定資産	111
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,194,224
(1) 現金及び預金	701,549
(2) 未収金及び未収収益	1,491,544
(3) 貸倒引当金( )	26,140
(4) 貯蔵品	27,216
3 繰延資産	-
負債合計	16,834,143
1 固定負債	14,104,233
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,815,422
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,288,811
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,513,974
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,105,553
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	300,926
(6) リース債務	8,650
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,066,099
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	215,936
(1) 長期前受金	3,810,471
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,594,535
資本合計	-3,830,080
1 資本金	2,681,502
2 剰余金	-6,511,582
(1) 資本金剰余金	3,118,713
(2) 利益剰余金	-9,630,295
負債・資本合計	13,004,063
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	3,830,080
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,614,144
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,206,408	1,206,408
資本勘定繰入	580,891	580,891
計	1,787,299	1,787,299

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	102.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	三好市
				病院名	三野病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,537 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	3	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	78.4	71.6	83.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	78.4	71.6	83.7
平均在院日数(一般病床のみ)		40.2	40.8	36.4

設立団体の状況		
人口(人)	26,836	
決算規模(千円)	23,997,226	
標準財政規模(千円)	13,747,112	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.4
修正医業収益(千円)	765,154

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	907,149			
1 経常収益	899,745			
(1) 医業収益	774,369			
入院収益	468,449			
外来収益	247,744			
診療収入計	716,193			
その他医業収益	58,176			
(うち他会計負担金)	9,215			
(2) 医業外収益	125,376			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	82,108			
(うち長期前受金戻入)	36,942			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,404			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	932,756			
2 経常費用	932,586			
(1) 医業費用	875,793			
職員給与費	465,585	60.1	55.7	72.6
材料費	144,017	18.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	110,693	14.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,349	4.2	11.0	5.6
減価償却費	71,884	9.3	9.0	11.1
経費	189,419	24.5	23.3	31.9
(うち委託料)	93,658	12.1	11.5	13.0
研究研修費	887			
資産減耗費	4,001			
(2) 医業外費用	56,793			
(うち支払利息)	16,997	2.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	170			
損益				
経常損益	-32,841			
純損益	-25,607			
累積欠損金	135,346			
経常収支比率	96.5		97.7	97.4
医業収支比率	88.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	10.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	86.7		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,279,453
1 固定資産	1,011,142
(1) 有形固定資産	968,013
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	43,129
2 流動資産	268,311
(1) 現金及び預金	138,989
(2) 未収金及び未収収益	122,750
(3) 貸倒引当金( )	580
(4) 貯蔵品	7,152
3 繰延資産	-
負債合計	1,322,783
1 固定負債	935,632
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	935,632
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	119,756
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,598
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,403
(6) リース債務	1,010
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	36,745
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	267,395
(1) 長期前受金	814,989
(2) 長期前受金収益化累計額( )	547,594
資本合計	-43,330
1 資本金	91,816
2 剰余金	-135,146
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-135,146
負債・資本合計	1,279,453
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	43,330
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	105,850	91,323
資本勘定繰入	35,292	76,084
計	141,142	167,407

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	勝浦町
				病院名	国保勝浦病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,495 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	62.4	55.0	59.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	62.4	55.0	59.0
平均在院日数(一般病床のみ)		36.7	39.0	36.0

設立団体の状況		
人口(人)	5,301	
決算規模(千円)	3,558,612	
標準財政規模(千円)	2,259,218	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.1
修正医業収益(千円)	513,007

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	670,211			
1 経常収益	670,206			
(1) 医業収益	513,007			
入院収益	314,862			
外来収益	163,990			
診療収入計	478,852			
その他医業収益	34,155			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	157,199			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	132,515			
(うち長期前受金戻入)	18,444			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	648,319			
2 経常費用	648,319			
(1) 医業費用	632,485			
職員給与費	421,815	82.2	55.7	72.6
材料費	50,626	9.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	37,121	7.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,411	2.6	11.0	5.6
減価償却費	21,890	4.3	9.0	11.1
経費	135,366	26.4	23.3	31.9
(うち委託料)	68,016	13.3	11.5	13.0
研究研修費	940			
資産減耗費	1,848			
(2) 医業外費用	15,834			
(うち支払利息)	1,502	0.3	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	21,887			
純損益	21,892			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.4		97.7	97.4
医業収支比率	81.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	19.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	25.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	19.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	82.9		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,692,890
1 固定資産	540,888
(1) 有形固定資産	540,042
(2) 無形固定資産	846
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,152,002
(1) 現金及び預金	1,072,218
(2) 未収金及び未収収益	76,890
(3) 貸倒引当金( )	399
(4) 貯蔵品	3,293
3 繰延資産	-
負債合計	660,177
1 固定負債	455,507
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,277
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	405,230
(7) リース債務	-
2 流動負債	76,744
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,585
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,825
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	39,334
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	127,926
(1) 長期前受金	381,409
(2) 長期前受金収益化累計額( )	253,483
資本合計	1,032,713
1 資本金	855,985
2 剰余金	176,728
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	176,728
負債・資本合計	1,692,890
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	130,014	132,515
資本勘定繰入	7,885	10,257
計	137,899	142,772

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	那賀町
				病院名	那賀町立上那賀病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,432 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	へ		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	26	73.4	63.0	61.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	26	73.4	63.0	61.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	16.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	8,402	
決算規模(千円)	12,047,452	
標準財政規模(千円)	6,170,172	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.1
修正医業収益(千円)	335,396

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	454,059			
1 経常収益	454,059			
(1) 医業収益	338,396			
入院収益	185,179			
外来収益	124,046			
診療収入計	309,225			
その他医業収益	29,171			
(うち他会計負担金)	3,000			
(2) 医業外収益	115,663			
(うち国・都道府県補助金)	2,044			
(うち他会計補助・負担金)	100,519			
(うち長期前受金戻入)	7,876			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	558,622			
2 経常費用	558,622			
(1) 医業費用	549,120			
職員給与費	374,654	110.7	55.7	80.8
材料費	51,214	15.1	24.7	13.8
(うち薬品費)	29,757	8.8	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,457	6.3	11.0	4.9
減価償却費	44,821	13.2	9.0	12.9
経費	77,719	23.0	23.3	47.4
(うち委託料)	50,097	14.8	11.5	20.7
研究研修費	181			
資産減耗費	531			
(2) 医業外費用	9,502			
(うち支払利息)	9,502	2.8	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-104,563			
純損益	-104,563			
累積欠損金	1,313,055			
経常収支比率	81.3		97.7	96.7
医業収支比率	61.6		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	22.8		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	30.6		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	22.8		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	62.8		85.7	64.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	541,062
1 固定資産	373,181
(1) 有形固定資産	373,181
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	167,881
(1) 現金及び預金	54,260
(2) 未収金及び未収収益	91,349
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	12,151
3 繰延資産	-
負債合計	406,451
1 固定負債	256,617
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	256,617
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	99,355
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	48,427
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,668
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,260
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	50,479
(1) 長期前受金	185,948
(2) 長期前受金収益化累計額( )	135,469
資本合計	134,611
1 資本金	1,447,666
2 剰余金	-1,313,055
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,313,055
負債・資本合計	541,062
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	90,021	103,519
資本勘定繰入	29,849	45,523
計	119,870	149,042

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	388.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	徳島県
		市町村・組合名	美波町
		病院名	国保美波病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,531 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	53.3	47.7	55.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	53.3	47.7	55.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	18.5	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	7,092	
決算規模(千円)	6,343,895	
標準財政規模(千円)	3,513,719	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	4.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.5
修正医業収益(千円)	498,196

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	766,648			
1 経常収益	766,638			
(1) 医業収益	536,187			
入院収益	261,872			
外来収益	225,580			
診療収入計	487,452			
その他医業収益	48,735			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	230,451			
(うち国・都道府県補助金)	117			
(うち他会計補助・負担金)	190,100			
(うち長期前受金戻入)	30,689			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	849,159			
2 経常費用	849,117			
(1) 医業費用	823,490			
職員給与費	387,610	72.3	55.7	72.6
材料費	133,814	25.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	112,918	21.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,018	2.8	11.0	5.6
減価償却費	124,249	23.2	9.0	11.1
経費	177,219	33.1	23.3	31.9
(うち委託料)	61,309	11.4	11.5	13.0
研究研修費	598			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	25,627			
(うち支払利息)	4,825	0.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	42			
損益				
経常損益	-82,479			
純損益	-82,511			
累積欠損金	310,748			
経常収支比率	90.3		97.7	97.4
医業収支比率	65.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	29.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	42.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	29.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	63.4		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,636,358
1 固定資産	2,246,345
(1) 有形固定資産	2,246,345
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	390,013
(1) 現金及び預金	306,467
(2) 未収金及び未収収益	83,281
(3) 貸倒引当金( )	353
(4) 貯蔵品	618
3 繰延資産	-
負債合計	1,975,182
1 固定負債	1,032,344
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,032,344
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	112,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,814
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,264
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	27,054
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	830,706
(1) 長期前受金	962,902
(2) 長期前受金収益化累計額( )	132,196
資本合計	661,176
1 資本金	962,249
2 剰余金	-301,073
(1) 資本金剰余金	9,675
(2) 利益剰余金	-310,748
負債・資本合計	2,636,358
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	132,504	228,091
資本勘定繰入	27,907	27,907
計	160,411	255,998

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	海陽町
				病院名	海南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,366 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 災 輪		
診療科数	4	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	45	38.2	35.8	42.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	38.2	35.8	42.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	19.8	20.4

設立団体の状況		
人口(人)	9,283	
決算規模(千円)	7,862,679	
標準財政規模(千円)	4,705,705	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	84.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	516,915			
1 経常収益	516,915			
(1) 医業収益	259,841			
入院収益	160,260			
外来収益	81,400			
診療収入計	241,660			
その他医業収益	18,181			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	257,074			
(うち国・都道府県補助金)	5,195			
(うち他会計補助・負担金)	238,750			
(うち長期前受金戻入)	6,376			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	576,440			
2 経常費用	576,440			
(1) 医業費用	560,891			
職員給与費	322,650	124.2	55.7	80.8
材料費	24,258	9.3	24.7	13.8
(うち薬品費)	13,581	5.2	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	6,369	2.5	11.0	4.9
減価償却費	52,984	20.4	9.0	12.9
経費	160,301	61.7	23.3	47.4
(うち委託料)	54,996	21.2	11.5	20.7
研究研修費	672			
資産減耗費	26			
(2) 医業外費用	15,549			
(うち支払利息)	5,379	2.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-59,525			
純損益	-59,525			
累積欠損金	585,078			
経常収支比率	89.7		97.7	96.7
医業収支比率	46.3		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	46.2		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	91.9		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	46.2		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	48.3		85.7	64.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,128,439
1 固定資産	1,070,249
(1) 有形固定資産	1,067,055
(2) 無形固定資産	3,194
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	58,190
(1) 現金及び預金	10,973
(2) 未収金及び未収収益	45,468
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	1,749
3 繰延資産	-
負債合計	696,883
1 固定負債	405,836
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	403,079
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	2,757
2 流動負債	72,172
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,511
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,004
(6) リース債務	11,028
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,629
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	218,875
(1) 長期前受金	366,277
(2) 長期前受金収益化累計額( )	147,402
資本合計	431,556
1 資本金	984,925
2 剰余金	-553,369
(1) 資本剰余金	31,709
(2) 利益剰余金	-585,078
負債・資本合計	1,128,439
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	46.3
修正医業収益(千円)	259,841

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	236,500	238,750
資本勘定繰入	32,795	46,250
計	269,295	285,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	225.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	徳島県
				市町村・組合名	つるぎ町
				病院名	つるぎ町立半田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,311 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	120	72.7	72.2	81.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	72.7	72.2	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	18.0	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	8,927	
決算規模(千円)	7,823,577	
標準財政規模(千円)	5,180,055	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	101.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	31.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.6
修正医業収益(千円)	2,079,166

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,377,775			
1 経常収益	2,373,594			
(1) 医業収益	2,177,001			
入院収益	1,141,113			
外来収益	852,248			
診療収入計	1,993,361			
その他医業収益	183,640			
(うち他会計負担金)	97,835			
(2) 医業外収益	196,593			
(うち国・都道府県補助金)	6,711			
(うち他会計補助・負担金)	111,005			
(うち長期前受金戻入)	51,228			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,181			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,369,728			
2 経常費用	2,369,727			
(1) 医業費用	2,270,925			
職員給与費	1,310,110	60.2	55.7	61.3
材料費	319,566	14.7	24.7	17.6
(うち薬品費)	174,745	8.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	130,139	6.0	11.0	8.2
減価償却費	173,885	8.0	9.0	10.2
経費	461,425	21.2	23.3	30.5
(うち委託料)	155,662	7.2	11.5	13.0
研究研修費	5,570			
資産減耗費	369			
(2) 医業外費用	98,802			
(うち支払利息)	33,328	1.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	1			
損益				
経常損益	3,867			
純損益	8,047			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		97.7	96.5
医業収支比率	95.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	91.4		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,670,336
1 固定資産	4,093,545
(1) 有形固定資産	4,042,013
(2) 無形固定資産	122
(3) 投資その他の資産	51,410
2 流動資産	576,791
(1) 現金及び預金	121,494
(2) 未収金及び未収収益	428,957
(3) 貸倒引当金( )	746
(4) 貯蔵品	27,086
3 繰延資産	-
負債合計	2,530,967
1 固定負債	1,574,793
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,549,131
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	25,662
2 流動負債	426,158
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	209,479
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	82,792
(6) リース債務	16,597
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	117,290
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	530,016
(1) 長期前受金	1,935,729
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,405,713
資本合計	2,139,369
1 資本金	1,495,457
2 剰余金	643,912
(1) 資本剰余金	1,871
(2) 利益剰余金	642,041
負債・資本合計	4,670,336
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	219,528	208,840
資本勘定繰入	122,450	81,160
計	341,978	290,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。